

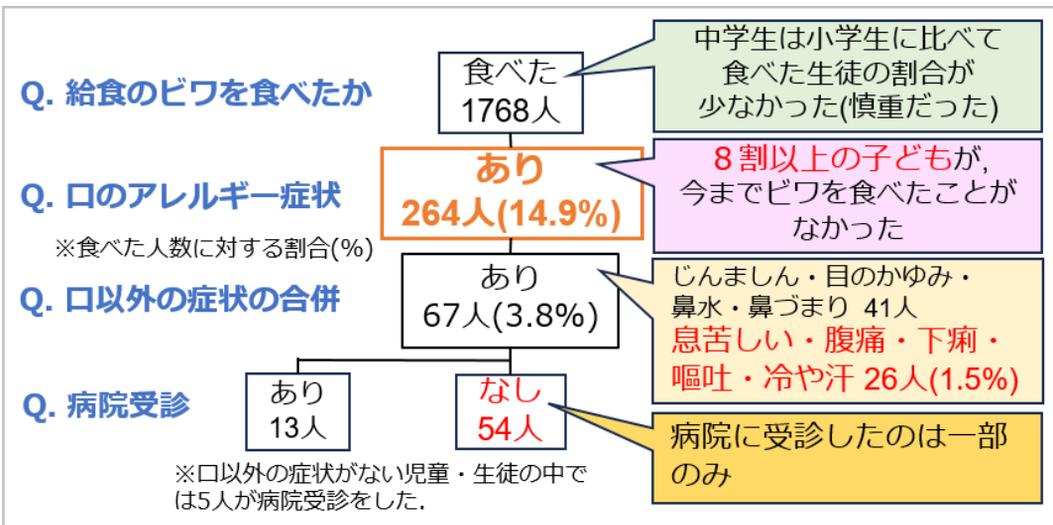


# 小中学生の口腔アレルギーに関する調査

## にご協力いただきありがとうございました！

2024年6月25日に富士吉田市内の学校給食で提供されたビワにより多くの児童・生徒がアレルギー症状を起こしたことをきっかけに、実態を把握して今後の対応に役立てるべく、保護者の皆様を対象にwebアンケート調査を実施しました。2360名(回収率 75.1%)にご協力いただいた調査結果をご報告します。

## 調査の結果



ビワを食べたお子さんのうち、**264人**にアレルギー症状がありました。中には口以外の症状があり、じんましんや息苦しさなども一緒に起こしていましたが、病院に受診したのは一部のお子さんでした。

## どんな人がビワアレルギーを起こしやすかったの？

### バラ科の果物で同じ症状が出たことがある

過去にビワの仲間のバラ科の果物で同じ症状が出たことのあるお子さんは、ないお子さんと比べて、**約7倍**、ビワでも症状が出やすかったことがわかりました。

・バラ科の食べ物は口腔アレルギー症候群の主な原因ですが、山梨ではビワが珍しいため、病気について知っていても避けられなかったケースもあるかもしれません。



### バラ科の食べ物の例

リンゴ、モモ、スモモ、サクランボ、イチゴ、梨・洋梨、アンズ、ビワ、アーモンドなど

### シラカンバ・ハンノキ・ブナ・コナラの花粉症がある

これらの花粉症(IgE抗体)があるお子さんは、ないお子さんと比べて、**約2倍**、ビワで症状が出やすかったことがわかりました。

・山梨県はスギ・ヒノキだけでなく、ハンノキのIgE抗体を持っている人も多いことがわかっています。

・花粉症の症状が無くても、抗体を持っている場合があり、口腔アレルギーの原因になります。



### 花粉はいつ頃飛んでいるの？

ハンノキは1-6月頃、シラカンバは2-6月頃、ブナ・コナラは4-5月頃に飛散しています。





## 口腔アレルギー症状がある場合はどうしたらいいの？

**アレルギー症状がある場合は一度受診をしましょう！**

**特に口以外の症状、複数の食べ物で症状が出る場合は必ずしてください！**

口腔アレルギー症候群は、花粉に対するアレルギーがある人が花粉と似た構造のアレルゲン(食べ物)を食べることで発症します。自分の花粉症の原因植物や、その場合にアレルギー症状を起こしやすい食べ物を知っておくことで、症状が出ないように注意することができます。

★アレルギー症状があったもので、口以外の症状も出た食べ物は基本的に避けましょう。

★①初めて・久しぶりに食べる②火を通していない③アレルギー症状が出たものと同じ科の食べ物、特に体調が悪い時は少しずつ食べて症状が出ないか確認するなど慎重に食べましょう。

★重症・原因となる食べ物が多い場合は、主治医と相談し学校生活管理指導表を活用しましょう。

### 本件について受診・相談可能な医療機関

山梨大学医学部附属病院アレルギーセンター

<https://yallergy.yamanashi.ac.jp/>



受診前に問診票のダウンロードが可能です！

アレルギーセンターのホームページ上に、本件について受診・相談可能な医療機関のリストを掲載しました(富士吉田市と周辺)。該当する医療機関には、今回の調査結果についての説明を事前に行い、患者さんが受診した場合の対応を依頼してあります。口腔アレルギー症候群に関する専用の問診票に記入をして、医師の診察を受けてください。

※受診の際には、それぞれの機関の診療日の確認や、予約の取得等について事前に調べることをお勧めします。

### 本件に関する追加研究を計画しています

ビワアレルギーの患者さんは珍しく、血液検査で調べられるビワ特有の抗体もまだ見つかっていません。今後、一般的な花粉や果物に対する抗体を調べる血液検査と同時に、研究用の採血にご協力いただける方を募集する予定です。

**詳細・応募方法は3月以降にホームページに掲載予定です。**

<研究事務局/問い合わせ先>

山梨大学医学部附属病院アレルギーセンター  
(担当:島村 歩美)

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110  
TEL 055-273-6769/FAX 055-273-9670

**感想アンケートにご協力ください！**

調査についての感想やアレルギーセンターへのご要望などをお聞かせください！

